



2020年3月31日

各 位

会 社 名 株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド  
代表者名 代表取締役社長 瓜 生 憲  
(コード番号 4436 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役副社長 兼 CFO 高田 隆太郎  
(TEL：03-6867-1531)

## 子会社の異動（ロボット投信株式会社の株式取得）に関するお知らせ

当社は、本日、ロボット投信株式会社（以下、「ロボット投信」）が行う第三者割当増資の引受により、同社の発行済株式の過半を取得し（以下、「本件株式取得」という。）、同社を子会社化することについて、ロボット投信と条件付きの基本合意に至りましたので、以下の通りお知らせいたします。

### 1. 株式取得の目的

ロボット投信（本社：東京都中央区、代表取締役社長：野口 哲）は、投資信託に特化した SaaS 型情報ベンダーとして、主に運用会社の投資信託業務、また証券会社や銀行等の投資信託販売・マーケティング業務の効率化及びデジタル化を実現する各種ソリューションを展開するスタートアップです。

ロボット投信が提供する投資信託業務の RPA 化ソリューションはいずれも革新的で、投資信託の運用会社並びに販売会社の業務を飛躍的に効率化します。加えて、これまで十分ではなかった販売後の顧客へのアフターフォローを可能とし、既に複数の運用会社、証券会社、銀行への導入実績があります。しかしながら、同社の事業基盤は未だ脆弱であり、更なる品質向上に必要な各種金融・経済・銘柄データの整備や、拡大する需要に柔軟に対応する開発体制の構築、大手金融機関とのやりとりを円滑に行う上での信用力等が不十分なことから、単独で一定規模まで事業規模を拡大するには、多くの時間を要する状況にあります。

一方、当社は、既に国内外の金融・経済・銘柄データを網羅的に保有し、自社開発体制以外にもニアショア、オフショアを含め、多数の外部開発パートナーを組織し、柔軟な開発体制を構築するとともに、金融機関を中心に 350 社を超える顧客基盤を有しています。当社は、本件株式取得を通じ、ロボット投信を子会社とすることで、ロボット投信の課題を早期に解決し、初年度から黒字化を実現してまいります。また、ロボット投信をグループに加えることで当社グループとして比較的手薄であった投資信託の運用会社並びに販売会社向けの情報ソリューションラインナップの充実を図り、当社グループの更なる事拡大に努めてまいります。

## 2. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	ロボット投信株式会社		
(2) 所 在 地	東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 野口 哲		
(4) 事 業 内 容	1. 運用会社向けの投資信託業務効率化・デジタル化ソリューションの提供 2. 証券会社・銀行向けの投資信託販売・マーケティング業務効率化・デジタル化ソリューションの提供 3. 投資信託データ、市場データの提供		
(5) 資 本 金	303百万円		
(6) 設 立 年 月 日	2016年5月30日		
(7) 大株主及び持株比率	野口哲 (48.66%) インキュベイトファンド3号投資事業有限責任組合 (30.69%) 上記の他、10%以上の株主はありません。 個人(役員)1名 2.43%、法人6社 18.22%、合計 20.65%です。		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません	
	人 的 関 係	該当事項はありません	
	取 引 関 係	該当事項はありません	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決 算 期	2017年4月期	2018年4月期	2019年4月期
純 資 産	78,412千円	469,756千円	174,513千円
総 資 産	83,113千円	488,142千円	198,821千円
1株当たり純資産	16.86円	76.94円	28.30円
売 上 高	一千円	16,243千円	92,715千円
営 業 利 益	▲36,649千円	▲109,975千円	▲285,576千円
経 常 利 益	▲34,871千円	▲104,782千円	▲285,538千円
当 期 純 利 益	▲35,137千円	▲108,362千円	▲295,242千円
1株当たり当期純利益	▲8.91円	▲21.77円	▲47.89円
1株当たり配当金	—円	—円	—円

※本件株式取得後、ロボット投信は決算期を4月から3月に変更する予定です。

3. 当社は、本日締結の基本合意書に記載の各種条件を満たした場合、2020年6月30日付で、ロボット投信が実施する第三者割当増資を以下の通り引受け、同社を子会社化いたします。なお、本件株式取得につきましては手元資金を原資として充当する予定です。

① 発行株式数	普通株式 6,200,000 株
② 払込金額	金 40 円/株
③ 払込総額	金 248,000 千円
④ 増加する資本金	金 20 円/株
⑤ 増加する資本準備金	金 20 円/株
⑥ 割当先及び割当株式数	当社 6,200,000 株
⑦ 申込期日	2020年6月29日
⑧ 払込期日	2020年6月30日

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数： 0 個) (議決権所有割合： 0 %)
(2) 取得株式数	6,200,000 株 (議決権の数： 6,200,000 個)
(3) 取得価額	ロボット投信株式会社の普通株式 248 百万円 アドバイザー費用等 (概算額) 10 百万円 合計 (概算額) 258 百万円
(4) 異動後の所有株式数	6,200,000 株 (議決権の数： 6,200,000 個) (議決権所有割合： 50.14%)

5. 日程

(1)	取締役会決議日	2020年3月30日
(2)	基本合意契約締結日	2020年3月31日
(3)	最終契約締結日	2020年6月29日
(4)	第三者割当増資実行日	2020年6月30日 (予定)

6. 本件株式取得後のロボット投信の経営体制

現ロボット投信代表取締役社長野口氏の継続の他、当社より同社取締役総数の過半数の取締役と1名の監査役をそれぞれ派遣する予定であります。

## 7. 今後の見通し

ロボット投信との間で合意している条件を満たした場合、当社は2020年6月30日付にて、本件株式を取得し、ロボット投信は当社の連結子会社となる予定であります。同社の子会社化に伴う当社連結業績へ影響については、2020年6月30日をみなし取得日とする予定であり、ロボット投信の損益は2021年3月期第2四半期から（2020年7月1日から）の連結開始を予定しております。現在、ロボット投信は営業赤字の状況であります。当社グループ事業資産の活用による増収と自社での費用削減により、2021年3月期の当社連結業績への黒字寄与が可能と考えており、2021年3月期下期からの利益貢献を見込んでおります。当社とロボット投信は、本件実行に伴うロボット投信の2021年3月期の当社連結業績への売上高、EBITDA、営業損益寄与の計画（以下：本計画）を以下のように立案しておりますが、次年度以降は加速的な事業拡大に伴い、更に大きな収益貢献を見込んでおります。なお、本計画には本件株式取得により発生するのれん償却の想定額を含んでおります。

	売上高	EBITDA	営業利益
ロボット投信の当社連結業績への寄与想定 (2021年3月期)	110百万円	37百万円	2百万円

当社は、2019年末に Prop Tech plus 株式会社を子会社化し、不動産リート分野にも事業領域を拡大しました。今回のロボット投信の子会社化が実現した場合、主に運用会社へのサービス提供も本格化させることが可能になり、既存の証券会社、FX事業者、商品先物事業者、銀行、不動産リート事業者などに提供しているソリューションにこれらが加わり、中期的な成長の持続に向け、顧客層と商材のスコープを拡大し、シナジーの創出によるアップセルの実現を目指して参ります。

当社は、短期的には2021年3月期において、連結売上高37億～40億円、同営業利益6億～9億円、同EBITDA11億～14億円を通期で目指す体制を確立させるとともに、グループ三社の相乗効果を最大限に発揮し、早期に通期で二桁の営業利益水準を達成することを足元の目標として事業展開を推進してまいります。

### (参考) 当期連結業績予想及び前期個別実績

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	当期純利益
当期連結業績予想 (2020年3月期)	2,700百万円	780百万円	430百万円	400百万円	400百万円
前期個別実績 (2019年3月期)	2,032百万円	494百万円	256百万円	208百万円	253百万円

※ 当社は直前事業年度末日において子会社を有していないため、前期実績は単体数値のみとなっております。

以 上